

被害状況総額	
七億六千三百九拾五万六千円	
罹災者総数	928人
死 者	20人
的 行 方 不 明	6人
被 傷 合 計	26人
全 戸 数	7戸
住 壊 人 員	34人
流 戸 数	12戸
失 人 員	44人
半 戸 数	9戸
の 壊 人 員	36人
浸 床 戸 数	88戸
被 上 人 員	354人
水 床 戸 数	91戸
害 下 人 員	460人
合 戸 数	207戸
計 人 員	928人
非住家の被害	75戸
農田流失埋没	52町
業冠水	21町
被流失埋没	30町
被冠水	4町
害合計	107町
農産物の被害金額	22,500円
林木炭窯	115基
炭倉庫	3棟
施設作業道	133,083米
業製材所	7棟
被一般苗場	2,900坪
林土場	65カ所
害流失木	40,000石
林産物の被害金額	86,200円
水被養漁場	2カ所
害産物被害金額	1,000円
教育小学校	6,015
關係中学校	413
その他の	872
被合計	7,300
土河川	92,870
木道路	152,650
農橋梁	22,700
林設計	268,220
關係農地	6,000
公林農業用施設	47,890
治林業用施設	3,000
施設山林道	284,066
設施治山施設	3,900
被合計	344,856
害合計	1613,074
その他の交通、鉱工、産業	28,750
被生産品被害金額	5,000
保健衛生施設	30
消防施設	40
自動車車庫	60
害合計	

災害発生後の村の主な動き

- 月日 項 目
- 9・27 役場に災害対策本部設置
- 9・27 収入役、山本清孝村議 県庁にて災害激甚を県主脳部に報告
- 9・27 午前六時県災害救助法発令
- 9・28 知事ヘリコプターで災害現

- 9・29 自衛隊員264名 救援のため来村
- 9・29 ヘリコプター救援物資輸送開始
- 9・29 県林務課、土木出張所、保健所、災害調査、防疫に来村
- 9・29 上地区村議員区長会を開き応急対策
- 10・1 稲浦自民党災害対策委員に村長、議長等数名仏原にて陳情
- 10・2 村長、議長等知事に陳情
- 10・2 電気、電話役場へ通ずる
- 10・3 午前六時災害救助法解除
- 10・4 植木代議士災害現地視察 村長、議長等仏原にて陳情
- 10・4 田中参議員代理災害見舞視察に来村
- 10・5 堂森代議士災害現地視察 村長、議長等仏原にて陳情
- 10・5 石徹白支所長見舞に来村
- 10・6 自衛隊一行引あげ
- 10・7 村議会
- 10・7 NHK福井放送局員 被災者録音のため来村
- 10・10 大野～朝日間小型自動車通行可能となつたので救援物資等どしどし到着
- 10・10 高志事務所総務課長等来村
- 10・12 上地区区長会
- 10・12 高志事務所耕地課災害調査に来村
- 10・13 県議会土木委員一行災害地視察、村議会と要談
- 10・13 下地区区長会
- 10・13 県連合青年団50名復旧作業応援に来村
- 10・15 県連合青年団復旧隊交替79名来村
- 10・16 小幡参議員、萩原県総務部長ヘリコプターにて災害地視察、村議会陳情
- 10・17 県連合婦人会長一行、石徹白婦人会長見舞に来村
- 10・17 村議会
- 10・17 和泉村出身大野市在住者一行災害見舞に来村
- 10・18 村議会
- 10・19 日赤福井県支部救援物資の輸送と災害見舞に来村
- 10・19 和泉村出身福井市在住者一行災害見舞に来村
- 10・19 林道査定 19日～20日
- 10・20 耕地査定
- 10・20 治山査定
- 10・21 村上建設大臣現地視察 村議会陳情
- 10・21 堂森代議士災害見舞に来村
- 10・22 武生市社会教育課長、婦人会長一行災害見舞に来村
- 10・25 大納青年団復旧作業に応援
- 10・26 上志比消防団長、婦人会長外一行災害見舞に来村
- 10・27 村議会
- 10・27 高橋参議員、大野市議会土木委員長等災害見舞に来村
- 10・28 県地方課長、財政係長、高志

被害総額は「億6千395万円」



発行所
福井県大野郡
和泉村公民館
印刷所
松浦印刷所



伊勢、久沢方面の大動脈永久橋の惨骸(米俵地係小河原橋)



(下山地係)
道路復旧に活躍する陸上自衛隊



↓航空自衛隊ヘリコプター救援物資空輸(大谷地係) 10月13日県議会土木委員等一行災害現地視察(大谷中瀬地係)



渦流にその影さえとどめない国道金沢～岐阜線向原橋(下半原地係)



大災害の程をものがたる国道金沢～岐阜線永久橋の惨骸(箱ヶ瀬橋)

←延々一キロ余りに及ぶ国道金沢～岐阜線路側の渋滞(野尻～影路間)

合同慰靈祭勤修

風台犠牲者に、むせび泣く遺家族

当村有史以来の災厄日、九月二十六日を丸二ヶ月経過した十一月二十五日、人々の落ち着きを待つて殉職水防団員、上大納谷口勇作さん(二十七)の顕彰式と村葬、並びに当村全犠牲者二十六人(上半原二人、大谷一人、朝日二十二人、上小学校講堂で斂修)を祭主として朝日

伊勢村當海湾に、むせび泣く遺家族

大納一人)の合同慰靈祭は杉本村長を祭主として朝日

朝日二十二人、上

原二人、大谷一人、朝日二十二人、上

小学校講堂で斂修

されれた。

災害二ヵ月後とは言ひ乍ら、國道は仮設修理を漸く終え辛うじて

バスの運行を見る程度で被害水田等はまだ手のつかぬまま当時の面影を残し、石ころと砂利、流木におわれ放しで、公私共に多端な村人達ではあるが殉職、犠牲となつて遂にこの世を去つた二十六体の御仏に心から誠を捧げんものと参集した者三百有余、それに県下各界の代表者を多数迎え始められた。

しつらえられた祭壇には各層から贈られたおびただしい花輪と供

物、その間をゆるやかに立ちこめる香煙、やがて午前十時、殉職した谷口さんの顕彰式と村葬が始まりされた。谷口さんの若妻みよ子さん(二十三)は涙にむせび乍ら勲八等桐葉章をはじめ、県知事、和泉村長、全国及県の消防協会会長、和泉村消防団長からの表彰状を夫に代つて受け、次で大野最勝寺藤兼晃師を導師として村葬がとり行われた。

厳肅な空気を打ち振わせて杉本

村長は「谷口君の身を挺しての水

防作業は下流の民家、公共建造物

を水難から救い事なきを得たこと

は正に神仏の所業である。が遺家

族の方々の御悲歎は如何ばかり…

…」と切々たる祭文を読み上げ、

続いて各代表の弔辞、弔電の数々

と全員の焼香で式は閉じられた。

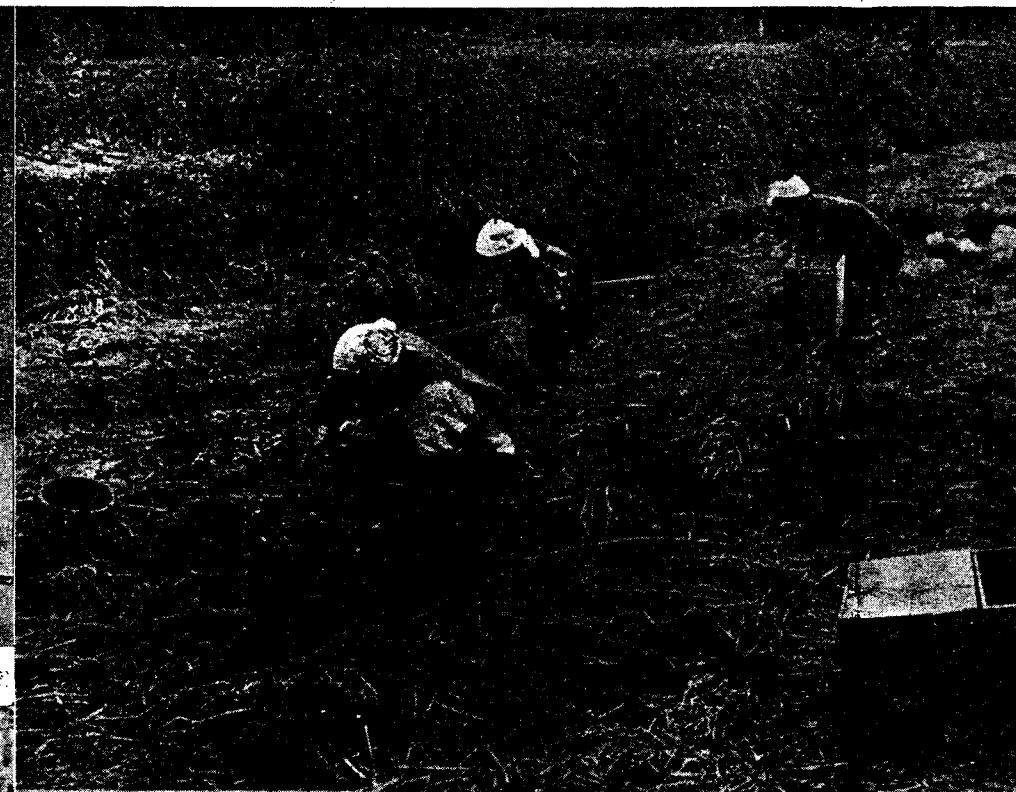
午後一時半から合同慰靈祭に入り全犠牲者二十六仏の手継寺の住職打ち揃い最勝寺藤兼晃師導師のもとに香煙新に漂い各報道関係者のフラッシュの尖光入り乱れる中を、友を失つた小中学生の参拝と続いたが遂に孤立区域が出来てしまつたが死を、行方不明の続出を知るに及んで断腸の思いであった。

この時程人の運命のはかなさと人生の無常を感じた事はない。今となつてはひたすら御成仏を念ずるのみ、残る一同はこの犠牲を郷土守護の礎石とし、再度この悲劇を繰返さぬ様村の安泰を固めたい。

遺族の方々には哀悼の言葉もない…」一同の胸打つ弔辞を述べ、各界よりの弔辞、弔電、焼香と読経の声、朗々たる中に午後三時半勤修は全く終了した。



郷土の救援に活躍される和泉村出身者(福井市で)



豊穣の秋も一夜にして泥土と川流木で埋つた耕地



(板倉地係)



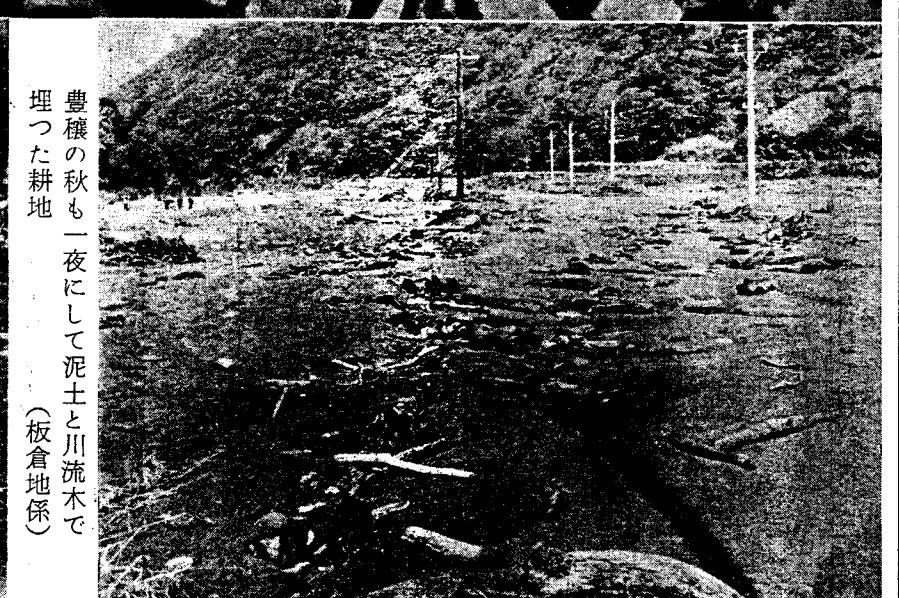
一夜に瓦礫と化した耕地(下山池ヶ島地係)
↑一年の丹精を思えば一穂でも…穂りの秋にしては余りにも悲惨(箱ガ瀬地係)

郷土の救援に活躍の和泉村出身者(福井市で)



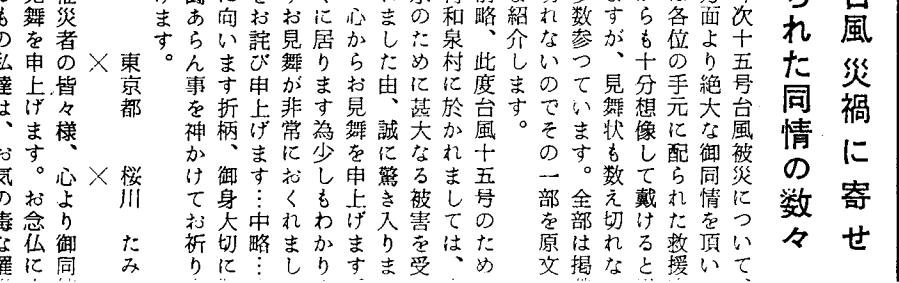
豊穣の秋も一夜にして泥土と川流木で埋つた耕地

(板倉地係)



豊穣の秋も一夜にして泥土と川流木で埋つた耕地

(板倉地係)



豊穣の秋も一夜にして泥土と川流木で埋つた耕地

(板倉地係)

和泉村の皆様、この度の台風は大変な災害を受けられ、私達で大変な爪跡を残し、毎日、新ラジオで私共は心から罹災者の様方に御同情申上げます。本にお見舞の申上げようも御座いません。復旧の為毎日さぞぞわれの事とお察し致します…以下略

三国町 いづみ会
福井市 光仏教婦人会

今年も豊年とよろこんでいましたのに、又々この度の伊勢湾台風で大変な爪跡を残し、毎日、新ラジオで私共は心から罹災者の様方に御同情申上げます。本にお見舞の申上げようも御座いません。復旧の為毎日さぞぞわれの事とお察し致します…以下略

和泉村の皆様、この度の台風は大変な災害を受けられ、私達心からお案じ申上げます。私達戦災、震災と何度か災いを受け、その度に大勢の人々からお見舞の数々を頂きどんなに嬉しくつた事でしょう。その御恩返しもと思い、ささやかな品ではございませんがお見舞とお送りいたします…以下略

和泉村の皆様、この度の台風は大変な災害を受けられ、私達心からお案じ申上げます。私達戦災、震災と何度か災いを受け、その度に大勢の人々からお見舞の数々を頂きどんなに嬉しくつた事でしょう。その御恩返しもと思い、ささやかな品ではございませんがお見舞とお送りいたします…以下略

台風災禍に寄せられた同情の数々